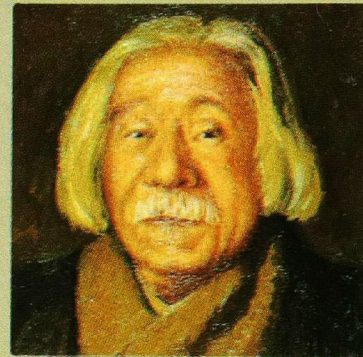


徳富蘇峰(本名・猪一郎)氏

(昭和30年1月1日表彰)

近世日本の先覚者。また、世界に稀な優れた思想家であった。熊本在住中は、白川新聞、熊本新聞等を発刊。大江義塾の創始者として子弟の教育に専念し、その啓蒙的影響が大であった。文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏

(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂。市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として熊本商大、短大を卒業。郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生れ、昭和32年5月3日死去、73歳。



細川護立氏

(昭和35年4月1日表彰)

肥後旧藩主細川家16代。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身学徒の育成に尽力。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献。明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



福田令寿氏

(昭和35年4月1日表彰)

医師開業のかたわら、医専五高で教鞭をとり子女の教育に専念の外、社会文化、社会福祉の要職を歴任、郷土の文化・福祉の向上発展に尽力。清廉・潔白な人格者であった。明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



熊本は、昔から「火の国」と呼ばれてきました。大化の改新のあと、奈良時代に入って現出水校区内に国府がおかれ、ここを中心に聚落が形成されるようになりました。このうち、平安・鎌倉時代を経て室町時代になると、菊池一族である出田秀信が、はじめて熊本に千葉城を築き、数代後の城主鹿子木親員が、新しく茶臼山に城を築いて隈本城と呼びました。

豊臣時代に入って秀吉は全国を制覇するや小西行長と加藤清正に肥後を分領させたが、徳川の天下になると、加藤清正は肥後54万石の領主となり、慶長6年から茶臼山に築いていた新城を隈本城から熊本城に改めました。熊本が町としての体制を整えたのは、このころからです。続いて細川忠利が肥後の領主となり、大政奉還までの二百有余年を細川家が政治を行ってきました。

明治10年西南の役で兵火を受け、市街地の大部分を灰燼に帰したが、直ちに復興し、明治22年には熊本市が誕生しました。大正から昭和にかけては隣接町村を合併しつつ熊本市の基礎を固め、九州における政治・経済・教育の中心地として発展を続けました。その後、昭和20年には大空襲で、終戦後の復興期に

あった28年には未曾有の大水害によって、市街地は壊滅的な被害を受けました。しかし全市民の不断の努力によって、困難を克服した熊本市はその後数度にわたる市域の拡大や近代的都市機能の集積を行い、近時では平成3年2月1日、飽託郡の北部町、河内町、飽田町、天明町と合併し、人口約63万人、面積約266平方キロメートルの熊本市が誕生しました。

この合併を機に、さらなる発展を遂げ、辛島公園地下駐車場の完成、熊本港の一部開港等都市基盤の整備を進めると共に、平成7年には地球規模での平和と環境の保全を願う「平和都市宣言」や「環境保全宣言」を行い、加えて環境総合センターをオープンしました。

さらに、平成8年4月には、中核市へ移行し、開かれた市政を目指し、情報公開制度や行政改革大綱の作成などにより、ハード面だけでなく、ソフト面の充実を図ってきました。

今後は平成11年の国民体育大会のメイン会場となる市総合屋内プールの完成や「一口城主」による熊本城の復元整備等を進めるなど魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

名誉市民

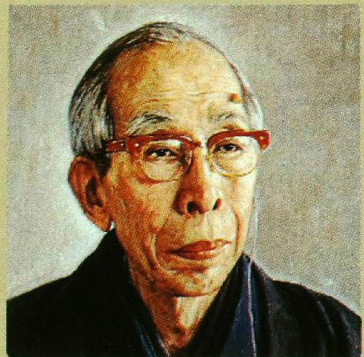
KUMAMOTO'S
HONORARY
CITIZENS



宇野哲人氏

(昭和44年10月1日表彰)

東京帝国大学での漢学・中国哲学の教授、東京大学名誉教授、実践女子大学学長、名誉教授等優れた業績は、郷土熊本の文運の興隆に、また、我国の漢学関係の学究者に多大の影響を与えた。明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。



堅山南風(本名・熊次)氏

(昭和44年10月1日表彰)

横山大観画伯等に師事し、日本画に精進。その多くの作品の上に、肥後の郷土色のにじみ出た芸術の香りがよく生かされている。日本画壇の第一人者といわれ、また、郷土文化の進展に大きく貢献した。明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤是山(本名・祐太郎)氏

(昭和54年10月1日表彰)

元九州日日新聞社筆。生来の文人墨客の性格と豊かな文筆で、数多くの郷土史を編さん監修、先人についての研究著述があり熊本の文化の啓蒙に尽した。「明星」同人、句誌「かはがらし」(後の東火)を主宰した。明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村汀女(本名・破魔)氏

(昭和54年10月1日表彰)

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、氏の人格と句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献。「ホトギス」同人、「風花」を主宰した。明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
大化	2 (646)	砂取付近に肥後の国府および兵力4軍団が設置	明	22 (1889)	市町村制が施行され、熊本市が誕生	明治	23 (1890)	教育勅語発令(井上毅と元田永孚が成案)	明	28 (1896)	夏目漱石が五高に着任、熊本を森の都と称賛
文明	1 (1469)	菊池氏の一族、出田秀信千葉城を築く	明治	4月	市域面積5.55km ² 、人口42,725人、戸数11,795戸、市議会議員数30人、市職員48人	明治	10月	第1回帝国議会が開会	明	4月	私立医学校が設立
明応	5 (1496)	鹿子木親員、古城に居城を移し、隈本城と称する	明治	6月	赤十字社熊本支部設立	明治	11月	門司・熊本間の九州鉄道が開通	明	9月	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置
慶長	6~12 (1601~1607)	加藤清正、現在地に熊本城を築き、河川の築堤、井戸の掘削などを行う	明治	24 (1891)	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	明治	7月	熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる	明	1月	フランス人、ジョン・メリー・コール神父が瀕死の待死院を設立
寛永	9 (1632)	細川忠利、肥後藩主となる	明治	25 (1892)	新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	明治	11月	ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任	明	10月	この年、市立避病院設立(後の白川病院)
宝暦	4~6 (1754~1756)	藩校時習館、医学館、養正館、蕃滋園(薬草園)などが創設	明治	27 (1894)	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立	明治	7月	日清戦争勃発	明	33 (1900)	市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数
天明	3 (1870)	古城に医学校が創設	明治	28 (1895)	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	明治	8月	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	明	31 (1898)	熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置
天保	4 (1871)	廃藩置県により熊本県が設置	明治	20 (1897)	第五高等学校(九州に	明治	11月		明	30 (1897)	フランス人、ジョン・メリー・コール神父が瀕死の待死院を設立
文政	7 (1824)	鎮西鎮台(九州および中国西部を管轄)が設置	明治	7 (1874)	九州最初の新聞、白川新聞発行	明治	25 (1892)	塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立	明	35 (1902)	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行
天保	10 (1877)	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失	明治	10 (1877)	熊本洋行が創設	明治	27 (1894)	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立	明	36 (1903)	市区改正の事業と新市街の事業完成
明治	19 (1886)	熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置	明治	19 (1886)	熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置	明治	28 (1895)	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	明	37 (1904)	日露戦争勃発
明治	20 (1887)	第五高等学校(九州に	明治	20 (1887)	第五高等学校(九州に	明治	28 (1895)	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立	明	39 (1906)	熊本高等工業学校設立



明治34年に市内の電話が開通した。交換手の白い上衣、紫袴は当時の女性の憧れだった。



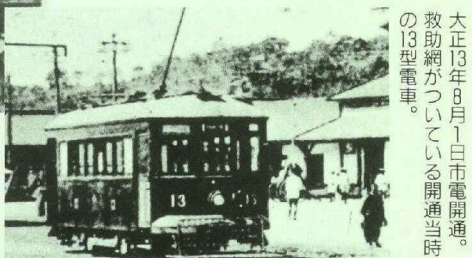
軽便鉄道。
K.K.T.Kは熊本軽便鉄道株式会社の略。



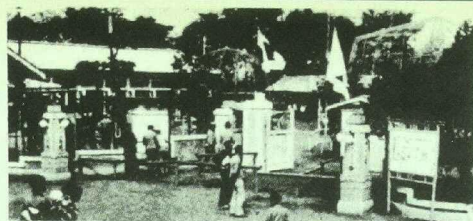
大正12年12月、市役所新庁舎完成。



昭和2年12月から17台の市営バスが走り始めた。(写真は昭和8年6月)



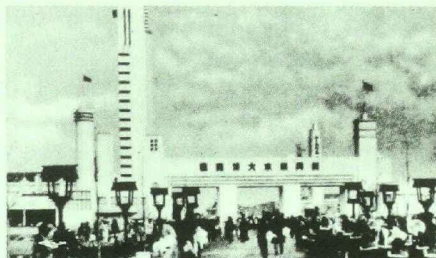
大正13年8月1日市電開通。救助網がついている開通当時の13型電車。



昭和4年7月に水前寺動物園が開園。



昭和5年10月 市公会堂新館が開館
昭和43年市民会館の出現に伴い取りかわされた。



昭和10年3月から5月にかけて開かれた新興熊本大博覧会。

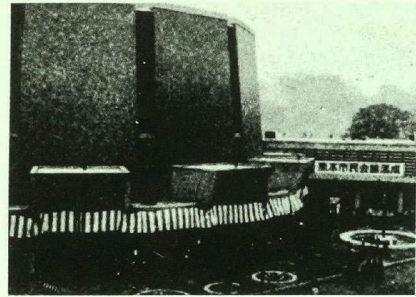


昭和35年10月、第15回国民体育大会は、全国から1万3千人が集まり盛大に開催された。

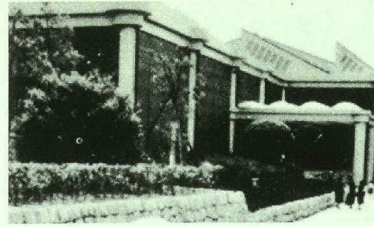
昭和35年9月、83年ぶりに熊本城天守閣が再建された。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
明治	40(1907)12月	熊本軽便鉄道株式会社が安巴橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設	大正	4月	が熊本市立高等女学校となる	昭和	20(1945)6月	市立本荘産院が発足	昭和	27(1952)1月	市立博物館開館
	41(1908)2月	人力車争議おこる		5月	熊本医学専門学校が医科大学に		6(1931)6月	7月・8月の空襲で市の大半が焦土と化す		7月	住民登録制度を実施
	42(1909)	鹿児島本線全線開通		12(1923)12月	手取本町に市役所新庁舎完成		11月	天皇陛下をお迎えし、熊本平野等で陸軍特別大演習を挙行		28(1953)4月	田迎村、御幸村を市に合併
	43(1910)1月	薬学専門学校発足		13(1924)8月	市営電車開通(車輦15台)開通に伴い鉄筋コンクリート大甲橋を架設		21(1946)2月	市立市民病院発足		6月	豪雨、大水害で市人口の66%が罹災
大正	44(1911)4月	女子師範学校発足	昭和	11月	熊本市上水道完成	昭和	11月	日本国憲法公布(新憲法)学校給食開始	昭和	7月	池上村、高橋村、城山村を市に合併
	44(1911)4月	熊本市立実科高等女学校開校		14(1925)	市三大事業(市電、上水道、23連隊移転)完成記念共進会開催		12月	市長、県知事が初めて公選で決まる		10月	市立図書館発足
	10月	菊池軌道株式会社が上熊本・広町間敷設		4月	出水村を市に合併		3月	国民学校が小学校に、また新制中学が誕生		29(1954)6月	市自治警察廃止
	2(1913)	この年、熊本軌道が田崎・百貴港、田崎・高麗門に開通		2(1927)2月	長六橋を近代式鉄橋に架け替える		11(1936)11月	市消防本部設置		10月	秋津村を市に合併
昭和	3(1914)7月	第1次世界大戦はじまる	昭和	12月	市営バス発足(バス17台)	昭和	14(1939)4月	市立母子寮を開設	昭和	30(1955)4月	松尾村を市に合併
	7(1918)7月	全国に米騒動		3(1928)2月	第16回総選挙、最初の普通選挙行われる		15(1940)12月	市立実務員養成所(後の実務商業)を開設		31(1956)4月	託麻村の一部を市に合併
	10月	スペイン風邪が流行し、全国で死者15万人		6月	NHK熊本放送局でラジオ初放送		16(1941)12月	天皇皇后両陛下ご来熊		32(1957)1月	小島町、龍田村を市に合併
	9(1920)10月	市人口70,388人		9月	御大典記念事業として、陸上競技場・野球場が完成	昭和	17(1942)4月	九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足		7月	大水害で市の33%が浸水し、金峰山周辺の山津波で死者、行方不明多数を出す
昭和	10(1921)6月	隣接11ヵ町村を合併、人口133,467人、戸数23,819戸の大熊本市が発足(黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山)	昭和	4(1929)7月	水前寺動物園が開園		18(1943)	学徒、女子挺身隊の戦時動員開始	昭和	33(1958)2月	NHK熊本テレビ開局
	11(1922)	熊本市立実科高等女学校		5(1930)3月	熊本市歌を制定		19(1944)3月	健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する		4月	中島村を市に合併
				4月	市営勧業館が新市街に開			市電気局が市交通局と改称			天皇皇后両陛下ご巡幸で立田山、水前寺などをご観覧
								市教育研究所を設置			第30回選抜高校野球大会

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
昭和	27(1952)1月	市立博物館開館	昭和	9月	で済々黉が優勝	昭和	1月	市民会館開館	昭和	10月	市立金峰山少年自然の家が開所
	7月	住民登録制度を実施		34(1959)4月	熊本市体育館が水前寺公園横に完成		4月	市社会教育会館が開館		51(1976)3月	「地下水保全都市」を宣言
	28(1953)4月	田迎村、御幸村を市に合併		7月	国民年金制度発足		44(1969)4月	市育英奨学制度創設		52(1977)4月	西南の役百周年記念式典を行う
	6月	豪雨、大水害で市人口の66%が罹災		35(1960)4月	国民健康保険制度発足		8月	熊本(水辺)動物園が完成し、「熊本動物大博覧会」を開催		5月	熊本市人口が50万人を突破
昭和	7月	池上村、高橋村、城山村を市に合併	昭和	5月	熊本空港開設	昭和	11月	熊本市章さまる	昭和	9月	錦ヶ丘に東部市民センター完成
	10月	市立図書館発足		8月	愛市憲章を制定		46(1971)4月	託麻村を市に合併		53(1978)4月	新しい熊本博物館が開館
	29(1954)6月	市長、県知事が初めて公選で決まる		9月	熊本城天守閣再建完成		5月	新熊本空港開設		54(1979)4月	東部清掃工場完成
	10月	国民学校が小学校に、また新制中学が誕生		12月	第15回国民体育大会を開催		6月	市勤労青少年ホーム開館		7月	東部保健センターが開所
昭和	30(1955)4月	市自治警察廃止	昭和	37(1962)3月	西保健所を開設	昭和	10月	九州縦貫自動車道(熊本・植木間)開通	昭和	10月	龍田市民センター完成
	31(1956)4月	秋津村を市に合併		4月	天守閣再建記念		48(1973)1月	熊本市基本構想さまる		10月	「健康都市」を宣言
	32(1957)1月	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催		12月	「躍進熊本大博覧会」開催		5月	の都作戦を展開		55(1980)6月	中国・桂林市と友好都市締結
	33(1958)2月	松尾村を市に合併		40(1965)4月	北部清掃事業所開所		10月	秋津下水処理場が完成		8月	市制90周年記念式典を行う
昭和	34(1959)4月	託麻村の一部を市に合併	昭和	39(1964)4月	市総合計画策定(マスタープラン)	昭和	49(1974)6月	戸島町に市斎場開設	昭和	56(1981)1月	身障者福祉センター希望荘開設
	35(1960)4月	小島町、龍田村を市に合併		10月	「まちをキレイにする運動」がはじまる		10月	学校給食東共同調理場が完成		12月	水害で約16,900人の市民の罹災者を出す
	36(1961)7月	大水害で市の33%が浸水し、金峰山周辺の山津波で死者、行方不明多数を出す		12月	東部汚水処理場完成		50(1975)5月	勤労婦人センターを本山町に開設			熊本市総合計画基本構想さまる
	37(1962)3月	市食肉センター開所		41(1966)9月	この年、市内全小学校にプール完成		9月	西部、南部市民センターが完成			熊本市保健衛生研究所開設
昭和	38(1963)4月	北部清掃事業所開所	昭和	42(1967)3月	市総合計画策定(マスタープラン)	昭和	51(1976)3月	熊本市基本構想さまる	昭和	52(1977)4月	西南の役百周年記念式典を行う
	39(1964)4月	市総合計画策定(マスタープラン)		10月	「まちをキレイにする運動」がはじまる		53(1978)4月	新しい熊本博物館が開館		54(1979)4月	東部保健センターが開所
	40(1965)4月	市食肉センター開所		12月	東部汚水処理場完成		54(1979)4月	東部保健センターが開所		55(1980)6月	中国・桂林市と友好都市締結
	41(1966)9月	この年、市内全小学校にプール完成		42(1967)3月	熊本市基本構想さまる		56(1981)1月	身障者福祉センター希望荘開設		57(1982)1月	熊本市総合計画基本構想さまる



昭和43年1月6日市民
会館が完成。一、八〇
〇人収容の大ホールと
各種の会議室を備えた
近代建築。



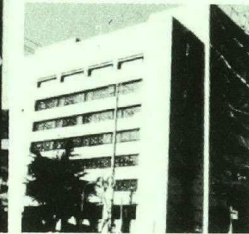
郷土熊本に根ざした西日本
一を誇る熊本博物館が昭和
53年4月1日に開館した。



平成2年4月、総合婦人
会館・カルチャーセンタ
ーオープン。



昭和46年6月、熊本・植木間の
高速自動車道が開通した。



昭和56年3月、産業文化
会館が完成。



昭和56年11月
新市庁舎完成。



平成2年6月、水資源
国際会議が開催。

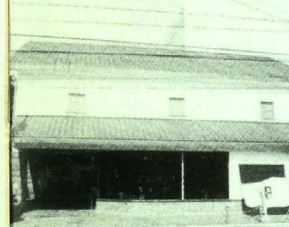
元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
昭	2月	熊本城西大手櫓門復元完 成	昭	1月	熊本市自転車駐車場完成	平	10月	くまもと緑化祭・地場産 業振興フェア開催	平		ブン
	3月	産業文化会館が開館		3月	電子計算システム始動			業振興フェア開催		9月	市民長寿社会憲章制定
	5月	託麻市民センター完成		4月	西部清掃工場完成・東部 清掃事業所開所		元(1989) 4月	市制施行100周年 「熊本百彩」開幕		10月	平成学園オープン
	7月	熊本市総合計画基本計画 きまる		7月	総合体育館・青年会館開 館			流通情報会館完成		3(1991)2月	熊本市と飽託郡四町が 合併
	11月	新市庁舎建設完成		8月	第4回全国都市緑化くま もとフェア開催		5月	「水源かん養林記念植樹 祭」		3月	熊本市基本構想策定
	57(1982) 6月	幸田市民センター完成		10月	10月1日を「市民健康の 日」と制定		8月	サンアントニオ市に「熊 本園」完成		4月	五福地域開発センターが 落成
	7月	北部保健センター開設					9月	金緑一般公開		5月	本荘犬刈線立体交差開通
		小楠記念館完成		62(1987) 4月	川尻下水処理場運転開始		8月	南部保健センター開設		6月	南部総合スポーツセンタ ーがオープン
		青少年野外活動センター 完成		5月	「ふれあいの森林」内に 森林学習館がオープン		9月	宇土橋・数寄屋丸二階御 広間完成			天明コミュニティセンタ ーがオープン
	11月	市図書館完成		7月	南部市民センター開設			動物資料館完成		7月	くまもと工芸会館がオー プン
和	58(1983) 4月	龍田体育館完成	和	9月	西消防署が移転新築	成	10月	熊本城フェスティバル 歴史都市サミット開催	成	9月	台風19号来襲
	59(1984) 5月	市の鳥としてシジュウカ ラ制定		10月	第1回熊本緑化祭開催		3月	政治倫理条例制定		10月	動植物園がオープン
		扇田埋立処分場供用開 始		12月	米国・サンアントニオ市 と姉妹都市締結		4月	「総合婦人会館・カルチャ ーセンター」がオープン		4(1992) 1月	熊本市総合計画基本計画 策定
	7月	清水市民センター完成		63(1988) 1月	くまもと女性フォーラム '88開催		5月	武蔵塚公園が新たに開園		3月	高規格救急車が消防局に 配備
	8月	熊本市の人口が55万人を 突破		2月	シルバー人材センター発 足		6月	川尻下水処理場汚泥焼却 場完成		4月	熊本城周遊バスがスタート
	10月	消防新庁舎完成		4月	大阪事務所オープン			中国・桂林市、アメリカ・ サンアントニオ市、ドイツ ・ハイデルベルグ市を迎え 「水資源国際会議」を開催		5月	ハイデルベルグ市との友 好都市締結の調印式
	60(1985) 6月	母子福祉センター完成		7月	大江市民センター完成			上高橋団地が完成		5月	平成駅の開業
	8月	秋津市民センター完成		8月	江津湖まつり(マイソソ グ発表会)		8月	「水資源国際会議」を開催		7月	平成駅の開業
	61(1986)							花園市民センターがオー プン		8月	熊本駅前北地区第一種市



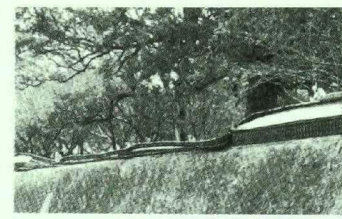
平成2年10月
「水の科学館」
が開館。



平成3年2月
熊本市と飽託郡四町が合併



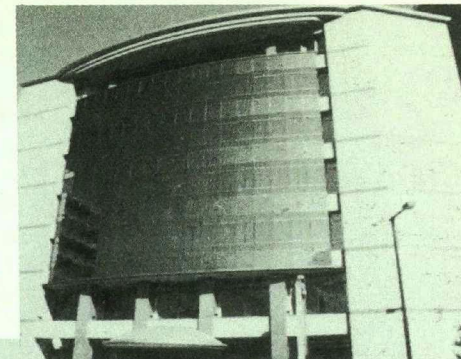
平成3年7月、くまもと
工芸会館が開館。



平成3年9月、
台風19号の被害



平成5年3月、熊本港一部開港



平成6年9月、国際交流会館オープン



平成5年9月、
大名屋敷・旧細川刑部邸完成



平成6年9月、
「市民子ども憲章」を制定

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平	9月	街地再開発事業完了	平	6(1994)2月	老人保健福祉計画を策定	平	5月	後藤山記念館落成	平	6月	「くまもと・よかよかボラ ンティアプラン」策定
		くまもと環境フェア'92 を開催		4月	天明総合支所庁舎が完成			耐震性貯水槽(楠中央公 園)設置		8月	超低床電車運行開始、ノ ンステップバス運行開始
	11月	動植物園内に「熊本・桂 林友誼亭」が完成			東部環境工場が完成		8月	尼崎市と災害時相互応援 に関する協定調印式		11月	フードパル熊本オープン
	11月	長寿の里デイサービスセ ンターが完成		5月	日吉・桜木中学校が開校		9月	熊本市行政改革大綱策定		10(1998)1月	環境情報表示板運用開始
		南部第一土地区画整理事 業完了		8月	高速消防艇「金峰」が就 航		10月	熊本市行政改革大綱策定		3月	九州新幹線鹿児島ルート 船小屋〜新八代間着工
	5(1993)2月	辛島公園地下駐車場が完成			交通・水道事業70周年記 念式典			さくらカード(優待証交 付事業)スタート			熊本市情報公開条例制定 (10月情報公開窓口開設)
		環境総合計画まとまる		6(1994)9月	国際交流会館がオープン			くまもとお城まつり開幕		4月	熊本市防災マップ作成
	3月	熊本港が一部開港		11月	福井市と姉妹都市締結		9(1997) 1月	中核市災害時相互応援協 定締結			リサイクルに重点をおい た新たなごみ収集システ ムの導入
	8月	保田窪放水路完成		7(1995) 1月	兵庫県南部地震第1次災 害救援隊派遣		2月	インターネット 熊本市 ホームページ開設			熊本城復元募金制度発足
		新熊本市史発刊		3月	子ども文化会館オープン			パークアンドライドシス テム試行		6月	熊本市防災マップ作成
成	10月	大名屋敷・旧細川刑部邸 が完成	成	4月	いじめ110番業務開始	成	5月	不登校の子供のための適 応指導教室「フレンドリ ー」設置	成	7月	ボランティア活動推進コ ーナー開設
		駐車場案内誘導システム がスタート		7(1995)4月	市民交流サロンオープン			1997年男子世界ハンドボ ール選手権大会・熊本開 催		9月	中核市サミット'98 in 熊 本開催
		「火の国フェスタ・くま もと'93」が開幕		5月	日吉東小学校完成			新消防司令管制システム 運用開始			談話窓口「中小企業110番」 専用電話ダイヤル設置
		透明ごみ袋によるごみ出 し制度スタート		6月	環境総合センターオープン			金緑猴の赤ちゃん誕生			水道局健康水源地災害時 緊急貯留施設等完成
		ハイデルベルグ市と「医 療基金」協定に調印		9月	環境保全都市を宣言			リサイクル情報プラザ “エコ”完成			
		高規格救急車が消防局に 配備		11月	高齢者世話付住宅出水団 地完成						
		熊本城周遊バスがスタート			熊本市人口65万人突破						
		ハイデルベルグ市との友 好都市締結の調印式		12月	中核市政令公布						
		上高橋団地が完成		8(1996) 1月	第1回熊本県消防広域応 援合同訓練						
		平成駅の開業		4月	中核市移行						
	8月	熊本駅前北地区第一種市									



平成7年1月、兵庫県南部地震
災害救援派遣団出発式



平成7年4月、市民交流サロンオープン



平成7年6月、環境総合センターオープン



平成9年5月、男子世界ハンドボール
選手権大会・熊本開催



平成9年5月、新消防司令管制
システム運用開始



平成9年5月、リサイクル
情報プラザ「エコ」完成



平成8年4月、
中核市移行記念式典



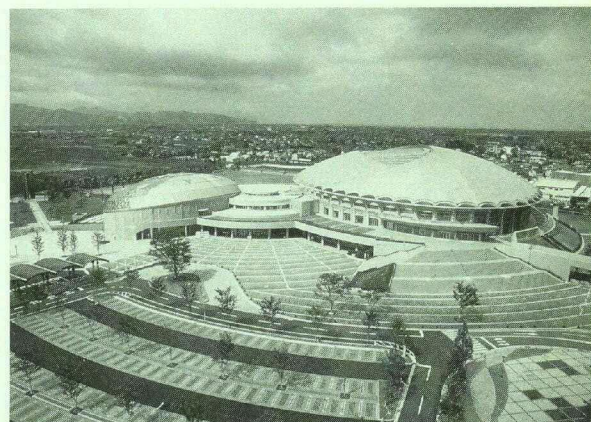
平成8年5月、
第1回くまもとお城まつり開催



平成10年7月、
中核市サミット'98in熊本開催



平成9年8月、超低床電車運行開始
ノンステップバス運行開始



平成10年6月、
総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成



平成10年7月、
ボランティア活動推進コーナー開設



平成10年10月、
白川公園再整備及び茶室「不言居」等完成



平成10年10月、
ファッションタウンサミット熊本'98開催



平成10年12月、
地球温暖化防止に向けた取り組みに対し
環境庁から平成10年度
地球温暖化防止活動
大臣表彰を受賞

市民の くらし

平成10年



出生 1日につき19.2人



死亡 1日につき11.3人



世帯人口 1世帯当たり2.5人



人口密度 1km²に2,477人



結婚 1日につき11.4組



離婚 1日につき3.5組



転入 1日につき92.4人



転出 1日につき90.9人



酒 1人1日0.16リットル



乗用自動車(軽自動車を含む)
1世帯に1.0台



犯罪 1日に27.2件



交通事故 1日に13.6件



市職員 市民 98人に1人



消防職員 市民1,047人に1人



火災 1日に0.67件



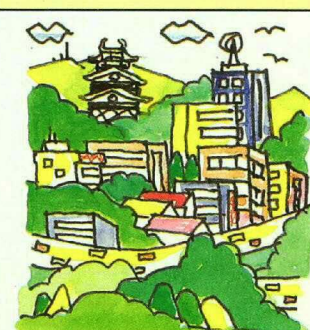
水道使用料
1日1人あたり262円



ごみ収集量 1日に925トン



市税 市民1人当たり132,444円



市の予算
市民1人当たり319,578円

(人口関係は平成10年分、予算は平成10年度当初予算額、その他は平成9年又は9年度分の数値)

元号	年(西暦)	できごと
平成	10月	白川公園再整備及び茶室「不言居」等完成 ファッションタウンサミット熊本'98開催
	11月	熊本市人口が66万人を突破
	12月	地球温暖化防止に向けた取り組みに対し環境庁から平成10年度地球温暖化防止活動大臣表彰を受賞



KUMAMOTO CITY GUIDE MAP

熊本市案内図

MATERIALS FOR 統計資料編

■資料編目次

- | | | | |
|------------------------------------|----|---------------------|----|
| 1. 気象概況 | 82 | 24. 国民健康保険給付状況 | |
| 2. 熊本市の校区面積 | | 25. 老人福祉状況 | 87 |
| 3. 推計人口・人口動態 | | 26. 保育所の概要 | |
| 4. 年齢別（5歳階級）男女別人口 | | 27. J R 市内駅乗客数状況 | |
| 5. 熊本都市圏人口 | 83 | 28. 市内自動車登録台数 | |
| 6. 産業大分類別事業所数・従業者数 | | 29. 市営電車・市営バス利用状況 | |
| 7. 農家数・農業就業者数・耕地面積の推移 | | 30. タクシー及びハイヤーの登録台数 | 88 |
| 8. 工業の主要指標 | | 31. 電話の概況 | |
| 9. 商業の主要指標 | | 32. 郵便物取扱数 | |
| 10. 熊本市消費者物価指数 | 84 | 33. 電灯・電力需要状況 | |
| 11. 熊本市全世帯1か月間の平均支出 | | 34. ガス需要状況 | |
| 12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況 | | 35. 上水道給水状況 | 89 |
| 13. 道路状況 | | 36. 交通事故の状況 | |
| 14. 建築物用途別受付件数 | | 37. 刑法犯罪認知件数 | |
| 15. 市内公園数及び面積 | 85 | 38. 火災の原因別件数 | |
| 16. 下水道状況 | | 39. 救急活動状況 | |
| 17. 医療施設 | | 市内の主な官公庁 | 90 |
| 18. ごみ・し尿収集処理状況 | | | |
| 19. 市民病院利用状況 | | | |
| 20. 市立産院利用状況 | 86 | | |
| 21. 熊本市の主要死因別死亡者数 | | | |
| 22. 生活保護状況 | | | |
| 23. 国民年金 | | | |